

チームG2

酒田市中心市街地活性化 最終報告(2021年3月3日)

杉原拓樹 高橋若寛 市川暉人 國分和未

目次

1. 酒田市の現状
2. 課題解決案
 - 2.1. カフェ
 - 2.2. ウォーキングコース
 - 2.3. 食堂
3. 事例紹介
4. まとめ
5. 参考文献



今回の課題内容

〈課題内容〉

・市街地において、年々賑わいが衰退しているという課題があり、市街地中心地に人の流れを取り戻したいと考えています。中心市街地の賑わいを取り戻すため、街路整備に伴ってどんな街並みにするのがよいのか、学生グループからの提案を求めます。

(提供:庄内総合支庁 道路計画課)



1. 酒田市の現状

〈酒田市街地のイメージ〉

- ・人通りが少ない
- ・店や施設が少ない
→昔より店の数が減少しているため、再生化が必要
- ・特徴的なものがない

解決案① カフェ

- ・若者層、ファミリー層の利用客増加を図る。

- ・時間帯に合わせた商品開発

⇒学校帰り等に立ち寄れるカフェを作る。

- ・既存の施設を用いる。

⇒費用を抑えることができる。



解決案② ウォーキングコース



・コース:山居倉庫～本町東大町

・視覚障がい者のための点字ブロックの設置、歩道に色を加える。

・運動に関するイベントを開催する。

⇒SNS等での情報発信が必要

解決案③ 食堂

・カフェと連携して、食堂に訪れた人にカフェ内で利用できる**クーポン券**を配布する。

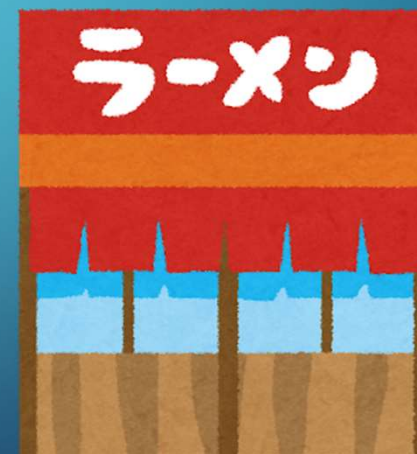
⇒**リピーター増加**を図る。

・中高生、大学生専用で割引価格で食べられる**商品**を提供。

⇒**学生を利用客増加**につなげる。

・**公益大の学食と連携**し、学食のメニューを提供

⇒もっと**気軽に**大学の学食を味わえる



3. 事例紹介

事例1:長野市中央通り 長野県長野市

- ・歩行者優先の道路空間の再配分や歩道と車道のフラット化等を整備することにより、イベント等の柔軟な活用に対応可能な道路空間の創出



3. 事例紹介

事例2: 津和野本町・祇園丁通り 島根県津和野市

・歩行者の安全や快適性の向上、歴史と伝統に調和した道路景観の形成を図るため、無電柱化や道路修景等を実施



3. 事例紹介

事例3: 松山ロープウェイ通り 愛媛県松山市

・歩行者優先の道路空間の再分配や無電柱化、舗装の美装化等を実施することにより、商店街の活性化を図り、地域の活動に寄与



4. まとめ・考察

- ① **ウォーキングコース**を設けて、商店街に足を運びやすいようにする。
- ② 学生が**学校帰りで立ち寄れるカフェ**を作る。
- ③ **店同士の連携**を図る。(割引サービス等)
- ④ **SNS(Twitter,Instagram,YouTube)**で情報を発信し、集客を図る。

5. 参考文献

- 国土交通省(2014)『良好な道路景観と賑わい創出のための事例集』
(2021年2月1日閲覧)

<https://www.milt.go.jp/road/sisaku/dorokeikan/pdf/010.pdf>

ご清聴
ありがとうございました

